

平成24年度
実施事業

事務事業名

産後子育てママ派遣事業

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを産み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	1	地域での子育て支援
主要な施策	5	⑤子育て家庭への相談・情報提供の支援
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 18 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	子育てグループ
-----	-------	-------	---------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)			
	出産後間もない母親の育児・家事の負担を軽減することを目的とする。			
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)			
	ヘルパーを派遣し、産後間もない母親の育児・家事を支援した。			
	[事業実績]			
		平成24年度	平成23年度	平成22年度
	利用件数	1件	2件	1件
	派遣延日数	10日	20日	10日
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)			
	出産時に家族や親族等からの支援を得られない場合、これに代わる支援策が無いことから事業を継続する。			
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)			
	児童福祉法、登別市産後子育てママ派遣実施要綱			

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称 子育て支援交付金（22年度まで次世代交付金）	千円	90	19	131	131	131
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	19	3	36	36	36
事業費 合計			109	22	167	167	167

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 利用者	人	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	1			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
地域の援助関係が希薄になる中、出産後の育児・家事支援により、地域に親類等が無く、里帰り出産もできない状況の妊産婦の不安を解消し、負担を軽減する。	妊婦検診等において制度の周知に努め、地域での子育てを支援する。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 児童福祉法に規定されている市町村が実施する養育訪問事業で、国の子育て支援交付金事業の一つである。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 多くは出産の際、家族等からの支援が得られるため、利用件数は少ないが、支援が得られない場合の必要性は極めて高い。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 派遣費用は委託契約によって定められており、利用者負担金の増額も難しい。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 出産時に支援が得られない場合の必要性は高く、好評である。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	児童福祉法に定められている市町村が実施する養育訪問事業で、利用件数は少ないが、出産時に支援を得られる家族等が無い場合、これに代わる支援策が無い場合事業は維持すべきである。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	備考	
-----------	----	--